

学校法人 加計学園

平成19年度事業報告

【岡山理科大学附属高等学校】

I. 事業の概要（全般）

入学者の減少に歯止めをかけ、生徒数を増加させるため、学校教育の原点に立ち返って、これまで以上に、生徒・保護者・地域社会から信頼される学校づくりを推進しました。

具体的には

- 1) 生徒一人ひとりの学力を向上させ、満足のいく進路実現を保証。
- 2) 礼儀正しく、品位ある生徒を育成。（社会性の向上を目指し遅刻防止週間を設け指導）
- 3) 教員の意識改革及び資質向上を図り、安心して子供の教育を任せられる学校であるとの評価を確立。（教員対象の研修会（いじめ問題、特別支援教育等）を実施）

学力向上と進路実現のため、授業改善に取り組むとともに、関連大学との実効性のある高大連携を推進しました。

品位ある生徒の育成のため、基本的な生活態度の確立（とくに挨拶の励行、身だしなみの指導、遅刻の防止）に努めます。（遅刻防止週間を設け、遅刻常習者には保護者を呼んで指導を行った）

危機感をバネに、学校組織、学校運営を改革し、教職員の意識の活性化を図り、教職員集団が、それぞれの持ち味を活かしながらチームワークを発揮し、充実した教育活動を実践しました。

信頼される学校づくりを基盤として、その上に時代や社会のニーズに対応した科・コースの特色・魅力アップを実施していきました。

II. 学校の概要

1. 生徒の定員現員数

（平成19年5月1日現在）

課程・科		定員数		現員数			
		入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
全 日 制 課 程	普通科	420	1,260	300	302	342	944
	機械科	105	315	68	62	86	216
	電気科	35	105	8	15	18	41
	情報科	35	105	30	11	31	72
	計	595	1,785	406	390	477	1,273
通信制課程	(広域)普通科	600	600				383
合計		1,195	2,385	406	390	477	1,656

（単位：人）

2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	卒業証書授与式
岡山理科大学附属高等学校	4月1日 ～4月7日	4月9日	7月20日 ～8月31日	12月25日 ～1月7日	3月21日 ～3月31日	3月1日

Ⅲ. 各事業の概要

1. 教育活動の進捗状況

最近4、5年の志願者数減、入学者数減を受けて、抜本的な改革が必要な状況の中、科・コースにおいては電気科・情報科の統廃合（電気情報科）と進路に応じた2年次からのクラス分け（選抜クラス、生命動物系クラスなど）を行い、関連大学の特色ある学部・学科との連携・接続・進学をアピールしました。（電気情報科申請、生命動物コース届出）

高大連携については附属高校と大学との相互理解を更に深め、高大連携推進委員会を中心に理大コースだけでなく、全科・全コースにおいて具体的な取り組み方法を探り、高校、大学がお互いに持ち味の生かせる内容を検討しました。（生命動物コースにおける実習委託及び講師派遣および通信制課程でのネイルアート実習）

工業においては活性化を図るため、各科とも趣向を凝らした「ものづくり」の内容を検討して、特色ある実験実習を模索し、生徒に対しては資格取得試験に積極的に挑戦させるよう指導しました。

通信制課程ではいままでの進学実績をベースに特進クラスを設定して、高校卒業資格の取得だけでなく、大学進学を目的とした進学に強い通信制課程の構築を目指しました。（関連大学への進学者が増加）

また岡山シーガルズとのスポーツ交流協定に基づき中・高の女子バレー部の充実を図るため、練習環境を整えるべく、小体育館の建設を計画しました。（平成20年度建設予定）

〔施設・設備〕

- ・ジョギングコース等設置工事を行いました。（2,143千円）
- ・その他教育用機器、図書等を購入し、設備の充実に努めました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧（平成19年5月1日現在）

	入学者	留学生	
		留学生	社会人
全日制課程	406	0	0
通信制課程	80	0	57

（単位：人）

卒業者数等一覧

	卒業 者	修了 者	退学 者	除籍 者	休学 者	留年 者
全日制課程	472	19	5	1	3	
通信制課程	165	26	4	0	0	

（単位：人）

2. 生徒の募集・広報

今年度は一昨年、昨年と続いた「オープンスクールの参加者は増えたが、志願者は減少」の反省を念頭に、参加した中学生が本校を必ず受験してもらえるようオープンスクールの内容を検討し、実施しました。（3回開催）

この他、広報活動の充実を図り、学生募集の拡大に努めました

3. 進学・就職活動状況

一昨年、昨年同様に早い時期からの進路目標確立のため、学年別・進路先別にガイダンス、講演会を計画、また各科・コースにおいても生徒、保護者対象に進路説明会を実施して、生徒の進路意識を高めると同時に生徒一人ひとりに適した進学・就職先を指導しました。

また、昨年同様に有名難関大学の指定校獲得のため、可能な限り大学訪問を行い、就職先ではより有名、優良企業の求人確保のため、企業訪問を実施しました。中高一貫コースの一期生が香川大学医学部医学科を筆頭に、筑波大学、岡山大学、広島大学など国公立の大学に39名（延べ数）が合格し、私立大学90校（関連大学4校含む）へ399名が合格しております。就職に関しては、岡山県下の企業48社、県外の企業20社に就職しております。

4. 財務関係

主な収入及び支出

(単位：千円)

年度 科目	18年度決算額	19年度決算額
学納金収入	970,287	852,024
補助金収入	461,242	423,656
その他収入	106,429	89,525
帰属収入合計	1,537,958	1,365,205
基本金組入額合計	△ 45,221	△ 8,005
消費収入の部合計	1,492,737	1,357,200
人件費	1,260,589	1,266,321
教育研究経費	239,847	247,219
管理経費	154,302	158,058
その他支出	62,177	65,499
消費支出の部合計	1,716,915	1,737,097

○収支改善対策の具体的取組と効果

組織の見直し、役職の任期制導入、人員削減など、単なる人件費の削減だけでなく、将来の安定した財政状況の現状を念頭に給与表等の見直しとして、非常勤講師料を公立高校と同額に揃えました。

また、教育研究経費、管理経費においても、昨年同様、必要な経費を明確化して、最小限の支出に努めました。